

- スーパーコンソールポートサーバ-VTS 検証結果報告 -

株式会社インターソリューションマーケティング
エンジニアリング担当

1. 目的

Sena 社のスーパーコンソールポートサーバ-VTS3200(32ポート) VTS1600(16ポート)の接続および動作確認を行った。スーパーコンソールポートサーバ-VTS のポート(シリアル RJ45)と PRIMEPOWER のコンソールポートとを接続した(PRIMEPOWER CENTER にて)。また、Sun Netra/X1、Cisco 製品との接続動作の確認(弊社及び協力会社にて)を行った。

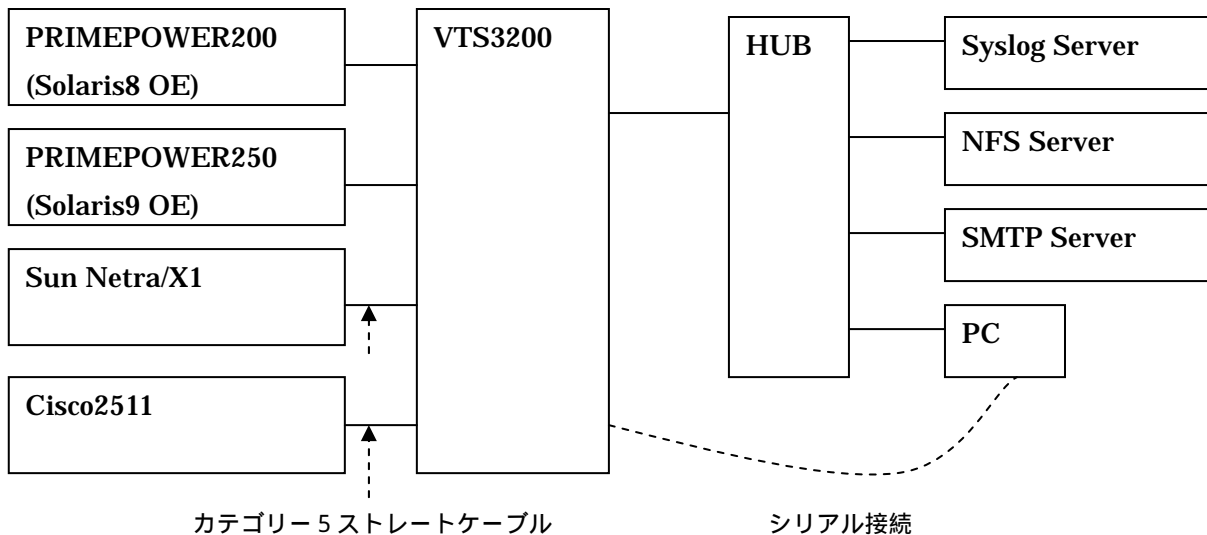
2. 環境

2-1. 評価機器

PRIMEPOWER200 (SPARC64 GP 400MHz×2、メモリ 1GB、内蔵 HDD 18GB×2) x1 台
PRIMEPOWER250 (SPARC64 V 1.1GHz×2、メモリ 4GB、内蔵 HDD 32GB×2) x1 台
Sun Netra/X1
Cisco 2511

を、Sena 社スーパーコンソールポートサーバ-VTS3200(32ポート)及び、VTS16(16ポート)に接続し検証を行った。

2-2. 評価システム図



2 - 3 . シリアルインターフェース仕様

2 - 3 - 1 . VTS 形状は、RJ45 で、ピン配置はつぎのようになっている。

RJ45 メス

```

=====
<-      1 CTS
<-      2 DSR
<-      3 RXD
         4 GND
         5 DCD
->      6 TXD
->      7 DTR
->      8 RTS
  
```

2 - 3 - 2 . DSUB25/RJ45 変換コネクタ

DSUB25 オス		RJ45
=====		=====
4 RTS	---	1 CTS
20 DTR	---	2 DSR
2 TXD	---	3 RXD
7 GND	---	4 GND
7 GND	---	5 DCD
3 RXD	---	6 TXD
6 DSR	---	7 DTR
5 CTS	---	8 RTS

2 - 3 - 3 . DSUB9/RJ45 変換コネクタ

DSUB9 メス		RJ45
=====		=====
7 RTS	---	1 CTS
4 DTR	---	2 DSR
3 TXDD	---	3 RXD
5 GND	---	4 GND
5 GND	---	5 DCD
2 RXD	---	6 TXD
6 DSR	---	7 DTR
8 CTS	---	8 RTS

3 . 作業期間

2003年8月13日 10:00 - 12:00

2003年8月14日 - 8月30日

4 . 作業場所

富士通株式会社 PRIMEPOWER CENTER (2003年8月13日 10:00 - 12:00)

弊社ラボ及び協力会社 (2003年8月14日 - 30日)

5. 検証結果

5 - 1 . 検証項目

・リモートコンソール制御を行うための接続ケーブルについて
VTS のシリアルポートは、RJ45 となっている。これは、同じ RJ45 インターフェースを持つ Cisco 製品 (Cisco2511、2611 など) とポートのピン配置は同じである。よって、コンソールポートが RJ45 の場合、カテゴリ 5 ストレートケーブルを用意するだけで OK。
DSUB25 ピン、DSUB9 ピンの場合、VTS に標準添付 (各変換コネクタ 1 個ずつ) している変換コネクタとカテゴリ 5 ストレートケーブルを用意することで OK。複数の変換コネクタが必要な時のためにオプションで用意されている。

・セットアップ

シリアル接続、ログイン、本体セットアップ、IP モード設定、IP アドレス設定、サブネットマスク設定、デフォルトゲートウェイ設定、プライマリ DNS 設定、セカンダリ DNS 設定、設定の保存、設定の反映

・リモート接続の設定

本体 IP アドレス指定による接続、VTS IP アドレス+ Port Access 用ポート番号指定による接続、

- ・SNMP のエージェント設定
- ・SYSLOG サーバ設定
- ・NFS サーバ設定

・シリアルポート設定と接続 (出荷時の設定でほとんどの機器と接続可)

ポート使用の有効・無効、ポートタイトルの設定、ホストモードの設定、ポートログインの設定、IP フィルタリングの設定、認証の設定及び認証有効時の ID 毎のアクセス認証、コンソールポートログイン時盗聴可能・不可能の設定、ブレイク信号の設定、VTS へのリモート接続

・ポートリセット

・リモート操作

Telnet/SSH 接続、SNMP 接続

・シリアル接続

Telnet/SSH 接続、ポートアクセスメニュー接続、

・コンソール sniff 機能

5 - 2 . 検証結果

問題なく接続・動作することを確認した。さらに次の点は優れている。

- ・VTS は、電源停止/リブート時にそりあるポートから Break 信号を送信しない。
- ・VTS は、シリアルポートに対して、ID、パスワードを設定できるアクセス制限。
- ・VTS のシリアルポートは、必要最低のポートのみが空いた状態で、セキュリティが高い。
- ・VTS は、アクセスログを、SYSLOG サーバ、NFS サーバへ出力する機能があり、トレーサビリティに優れている。

以上

- * Solaris™ Operating Environment および Solaris™ オペレーティング環境を、「Solaris OE」と記述しています。

6. 検証の項目

- 6 - 1 . ケーブリング
 - 1) Primepower 200 と V T S
 - 2) Primepower 250 と V T S
 - 3) Sun Fire と V T S
 - 4) Cisco と V T S
- 6 - 2 . セットアップ手順
 - 本体セットアップ
 - 1) V T S へのログイン
 - 2) 本体セットアップ
 - 3) I P モードの設定
 - 4) I P アドレス設定
 - 5) サブネットマスク設定
 - 6) デフォルトゲートウェイ設定
 - 7) プライマリーDNS設定
 - 8) セカンダリーDNS設定
 - 9) 設定保存
 - 10) 設定の反映
- 6 - 3 . リモート接続設定
 - 1) 本体 I P アドレス指定による接続
 - 2) V T S I P アドレス + port access 用ポート番号指定による接続
- 6 - 4 . S N M P エージェント設定
 - 1) コミュニティの変更
 - 2) コミュニティ削除 (できなくて O K)
- 6 - 5 . S Y S L O G サーバー設定
- 6 - 6 . N F S サーバー設定
- 6 - 7 . シリアルポート設定
 - 1) ポート使用の有効 / 無効の設定
 - 2) ポートタイトルの設定
 - 3) ホストモードの設定
 - 4) シリアルポートパラメータの設定
 - 5) ポートロギングの設定
 - 6) I P フィルタリングの設定
 - 7) 認証の設定
 - 8) ユーザーアクセス制御の設定
- 6 - 8 . V T S のファームウェアのアップグレード
 - 1) ファームウェアの取得
 - 2) V T S へリモート接続
 - 3) ファームウェアのアップグレード
- 6 - 9 . ポートリセット
- 6 - 10 . リモート操作
 - 1) T e l n e t / S S H 接続
 - 2) S N M P 接続
- 6 - 11 . シリアルコンソール接続
 - 1) T e l n e t / S S H 接続
 - 2) ポートアクセスメニュー接続
 - 3) アップロード、ダウンロード
- 6 - 12 . B r e a k 信号
 - 1) V T S のリポート
 - 2) 端末からの B r e a k 信号送出
- 6 - 13 . コンソールポートロギング
 - 1) S y s l o g サーバーへの出力
 - 2) N F S サーバーへの出力
- 6 - 14 . コンソールポート S n i f f

以上